

澤尻(八学大)女子500制す



【女子500制】44秒11で優勝した澤尻磨里英(八学大)＝長根リンク

スピードスケート

全日本選手権

第85回全日本スピードス

ケート選手権が3日、八戸市の長根リンクで開幕した。初日は男女各500メートルと男子5000メートル、女子3000メートルを実施。女子500メートルで澤尻磨里英(八戸学院大)が優勝した。

選手権は、4種目の合計得点で順位を競う。最終日の4日は男女1500メートル、男子1万メートル、女子5000メートルを行う。

(金澤千優希)

【男子】

▽500メートル ①土屋陸(日本電産サンキョー) 39秒51 ②渡部シリュウ 39秒52 ③堀川翼(北海道・白樺学園高) 41秒26 ④小川(abcdrug) 41秒62 (出場4人)

▽5000メートル ①小川拓朗(abcdrug) 7分25秒78 ②堀川翼(北海道・白樺学園高) 7分48秒63 ③土屋(日本電産サンキョー) 7分57秒95 ④渡部(シリュウ) 8分35秒78 (出場4人)

▽第1白得点 ①小川拓朗(abcdrug) 86・193(500) ②土屋(日本電産サンキョー) 87・300 ③堀川翼(北海道・白樺学園高) 88・123 ④渡部

(シリュウ) 91・098 (出場4人)

【女子】

▽500メートル ①澤尻磨里英(八戸学院大) 44秒11 ②髙山(JFEエンジニアリング) 45秒24 ③熊谷(大東大) 46秒53 ④山田(福井県体協) 46秒76 ⑤富田(大東大) 46秒91 (出場5人)

▽3000メートル ①髙山麻衣(JFEエンジニアリング) 4分44秒43 ②熊谷(大東大) 4分49秒53 ③澤尻(八戸学院大) 4分53秒76 ④富田(大東大) 4分54秒23 ⑤山田(福井県体協) 5分17秒63 (出場5人)

▽第1白得点 ①髙山麻衣(JFEエンジニアリング) 92・645(500) ②45秒24、3000メートル 4分44秒43 ③澤尻(八戸学院大) 93・070 ④熊谷(大東大) 94・785 ⑤富田(大東大) 95・948 ⑥山田(福井県体協) 99・600 (出場5人)

国体直後の大会力走

○：澤尻(八学大)は500メートルを制したものの、3000メートルでトップとタイム差が開いてしまい、目標の総合優勝が「黄信号」となった。

1日まで山梨県で行われた国体にも出場し、疲労もたまっていたが、「せっかくの大きな大会なので頑張りたい」と力走。500メートルでは本来の力を発揮して頂点に立ったが、3000メートルでは「終盤になって徐々にラップタイムが落ちてしまった」と反省。

4日の最終日に向けて、「最後まで集中力を切らさず、表彰台を目指す」と気持ちを切り替えていた。